

リアルタイム現地情報

「JA 茨城旭村いちご部会圃場巡回が行われました」

9月14日から16日にかけて、JA 茨城旭村いちご部会のほ場巡回を行いました。

普及センター職員と農協の営農指導員のほか、肥料メーカーと農薬メーカーの担当者が部会員のほ場を回り、定植前の苗の生育状況や定植直後の状況を確認しました。今年の一部を除き、炭疽病をはじめとする病害虫の被害が少なく、殆どの生産者は十分な数の定植苗を確保できていました。

夜冷処理などを行った苗の定植は10日頃から始まっていますが、くん蒸用炭酸ガスによるナミハダニ防除や、天敵の導入に取り組む生産者が増加しており、定植適期や定植後の天敵導入等について意見を交わし、今後の管理のポイントや病害虫対策について指導しました。

JA 茨城旭村いちご部会では、「とちおとめ」を中心に、「いばらキッス」、「やよいひめ」の3品種が生産されており、「いばらキッス」の作付面積は県内一となっています。販売実績が過去最高だった令和2年産を超えられるように、生産者と関係者が一丸となって高品質生産に取り組んでいきます。(成長産業)



定植作業の様子



苗のくん蒸処理前の様子